

単元名・教材名・時数	時	主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
○下巻導入 1時間 教科書表2～※3	1	1 教科書の写真を見ながら、場面の様子について話し合う。 2 自分たちの住む地域について考える。 3 これから学習する社会科について知る。	
○地図となかよしになろう			
○地図となかよしになろう			
地図帳を活用しよう 1時間 教科書 P. 2-3	1	1 地図を使った経験を話し合う。 2 地図帳を見て、気づいたことを話し合う。 3 地図帳のきまりやさくいんの使い方を知る。	
地図記号に親しもう／地図を色分けすると① 1時間 教科書 P. 4-7	2	1 空中写真を見て、まちの様子を話し合う。 2 地図記号と八方位をたしかめる。 3 土地利用を地図でどのように表しているかたしかめる。 4 写真を地図と照らし合わせながら比べて、気づいたことを話し合う。	
地図を色分けすると②／愛知県周辺の地図を見て、わかることを発表しよう 1時間 教科書 P. 8-9	3	1 土地の高さを地図でどのように表しているかたしかめる。 2 写真を地図と照らし合わせながら比べて、気づいたことを話し合う。 3 愛知県とそのまわりの地図を見て、気づいたことを話し合う。	
きよりをくらべてみよう／行ってみよう、見てみよう 1時間 教科書 P. 10-11	4	1 実際の距離を地図でどのように表しているかたしかめる。 2 縮尺の違う地図を見比べて、気づいたことを話し合う。 3 小牧市役所と学校の距離が、実際にはどれくらい離れているか、コンパスを使って調べる。	*本時終末で、次ページ P. 12～13 について教科書を読んで学習することを説明する。 ※さらに P. 15 の都道府県に関係した問題づくりを紹介し、授業以外で行う学習の説明をする。
知っている都道府県がどれくらいあるだろう 1時間 教科書 P. 12-13	5	1 知っている都道府県名や知っていることを話し合う。 2 地図帳を活用して、都道府県の名称と位置を確認していく。 3 教科書 P. 12 やってみようの問題に取り組む。	○教科書 P. 12～13 を読み、地図帳を活用して都道府県の名称と位置を確認したうえで、P. 12 の問題を解く。(1時間)

単元名・教材名・時数	時	主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
都道府県を使った問題をつくらせてみよう 2時間 教科書 P. 14-15	6 7	1 写真資料を見て、都道府県名やその位置を確認する。 2 教科書P. 15 の問題に取り組む。 3 ②の例題を参考にして、問題づくりに取り組む。	○教科書 P. 14～15 を参考に、都道府県の問題をつくる。(2時間) *各自がまとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。
1 わたしたちの住んでいる県			
1 わたしたちの県のようす	6		
大単元の導入 1時間 教科書 P. 126-127	1	1 教科書のイラストマップをもとに、岡山県の国内における位置関係をつかむ。 2 岡山県のイラストをもとに、県内のおよその概要をつかむ。 3 本時の学習を振り返り、今後の学習の見通しをもつ。	
わたしたちの岡山市はどこ？ 1時間 教科書 P. 128-129	2	1 トレーシングペーパーを使って県内の地図を写し取り、県内における市の位置や県の様子を調べる。 2 岡山市に色をぬり、岡山市の位置や県の様子について話し合う。 3 行ったことのある場所や、知っている場所を出し合い、岡山市役所から見た八方位や距離で表す。 4 子どもたちの経験をもとに、岡山県について詳しく調べたいことを話し合う。	
岡山県の土地のようす 1時間 教科書 P. 130-131	3	1 写真を見て話し合い、本時のめあてを確認する。 2 鳥瞰図をもとに、白地図に色ぬりをしたり、気づいたことを書き入れたりして、岡山県の土地の様子をおおまかにつかみ、話し合う。 3 鳥瞰図と土地の様子を表した地図を見比べ、その高さや傾きを読み取り、土地の特色について話し合う。 4 岡山県の地形の特色についてまとめる。	
岡山県の交通とおもな都市 1時間 教科書 P. 132-133	4	1 県内の高速道路、駅の様子などの写真を見て、本時のめあてを確認する。 2 県の交通の様子を調べたり、トレーシングペーパーを重ねたりして、気	

単元名・教材名・時数	時	主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
		づいたことを話し合う。 3 県内の市について、知っていることを話し合う。	
岡山県の産業 1時間 教科書 P. 134	5	1 岡山県でつくられているものについて話し合う。 2 主な産業についてグループごとに調べ、発表する。 3 県内の主な産業の概要についてまとめる。	*本時終末で、次ページ P. 135 にあるような PR クイズのつくり方と、さらに学習したいことをノートにまとめることを伝える。
岡山県を PR しよう 1時間 教科書 P. 135	6	1 岡山県の特徴を、これまでの学習をもとに振り返る。 2 岡山県の特徴をノートにまとめる。 3 岡山県を PR するためのクイズをつくる。 4 完成したクイズを交流し、これまで学習した自分たちの岡山県の様子を振り返るとともに、さらに学習したいことを話し合う。	○岡山県を PR するためのクイズをつくり、家の人など身近な人にクイズを出す。そして、さらに学習したいことをノートにまとめる。(1時間) *各自がまとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。
4 住みよいくらしをつくる			
1 ごみのしまつと活用	13		
大単元の導入 1時間 教科書 P. 16-17	1	1 毎日のくらしのなかで水や電気、ガスをどのように使い、ごみを始末しているか話し合う。 2 ごみや水、電気の利用について、今まで見たり聞いたりしたことや経験したことを発表する。 3 ごみの処理や水の利用について、学習していく計画を立てる。	
自分たちが出すごみを調べる 1時間 教科書 P. 18-19	2	1 教室のごみ箱や、学校のごみステーションの様子について話し合う。 2 自分の家から出るごみには、どのようなものがあるのか考える。 3 家庭から出るごみについて、調べてみたいことや調べる方法について話し合う。	
ごみステーションを調べる 1時間 教科書 P. 20-21	3	1 ごみステーションの様子を観察する。 2 ごみ収集の様子を見学する。 3 ごみを集める仕事について、分かったことや感じたこと、疑問に思った	

単元名・教材名・時数	時	主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
		ことをノートにまとめる。	
ごみステーションで調べたことを発表する 1時間 教科書 P. 22-23	4	1 ごみステーションを調べた結果と家庭ごみ調査結果を出し合う。 2 さまざまな方法で回収されたごみは、清掃工場でどのように処理されるのか、予想する。 3 清掃工場で、係の人に聞いてみたいことや工場内で見たいことを話し合い、計画を立てる。	
もえるごみのゆくえ 2時間 教科書 P. 24-25	5 6	1 清掃工場を見学し、燃えるごみがどのように処理されるのか調べる。 2 清掃工場の坂本さんの話を読み、清掃工場が工夫していることを考える。 3 清掃工場での、ごみ処理の問題点を考える。 4 見学して分かったこと、考えたことをまとめる。	
清掃工場のくふう 1時間 教科書 P. 26-27	7	1 清掃工場の坂本さんの話を聞き、ごみ処理の努力と工夫を調べる。 2 もえるごみが処理される仕組みを調べる。 3 燃えるごみの処理の仕組みを絵カードにまとめる。	
もえないごみのゆくえ 1時間 教科書 P. 28-29	8	1 燃えないごみの種類と種類ごとのごみの出し方を調べる。 2 リサイクル工場の吉田さんの話から、資源物の処理のされ方について調べる。 3 ごみのゆくえを整理する。	
最終しよぶん場からしょうらいを考える 1時間 教科書 P. 30-31	9	1 最終処分場の写真や栗山さんの話を読んで、気づいたことを発表する。 2 最終処分場の働きや問題点について調べる。 3 昔のごみ処理の問題点と、市役所の長弘さんの話から、将来のごみ処理について考える。 4 これまでの学習を振り返り、自分たちの市のごみがどのように処理されているのかをノートにまとめる。	

単元名・教材名・時数	時	主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
広がるごみしよりの有料化 1時間 教科書 P. 32-33	10	1 ごみ袋の特徴について調べる。 2 ごみ袋を有料化した理由を考え、話し合う。 3 有料化でごみの量はどう変わったのかを調べ、話し合う。	
ごみをへらすための取り組み 1時間 教科書 P. 34-35	11	1 佐賀市が進めている取り組みについて調べる。 2 店で進めている取り組みについて調べる。 3 その他のリサイクルについて調べる。 4 自分ができごみ減量の方法について考える。	*本時終末で、次ページ P. 36～27の、ごみを減らすために自分のできることのノートなどへのまとめ方を紹介し、授業以外で行う学習の説明をする。
わたしたちにできること 1時間 教科書 P. 36-37	12	1 違反ごみやパトロールカーの活動の写真をもとに話し合う。 2 ごみ出しのルールが守られていないことへの地域の取り組みについて調べ、新たなごみ問題の解決方法を考える。 3 ごみを減らすために、どのような工夫や取り組みがおこなわれていたのかについてのこれまでの学習を振り返り、自分の考えをノートにまとめる。	○教科書 P. 36～37 を読み、ごみを出すときのきまりについて学習する。そして、ごみを減らすために自分たちにできることを考え、ノートにまとめる。(1時間) *各自がまとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認し、次時の話し合いに生かす。
ふりかえってみよう 1時間 教科書 P. 38-39	13	1 学習のはじまりを振り返る。 2 調べる計画を振り返る。 3 ごみがどのように処理されていたかたしかめる。 4 前時にまとめた、ごみを減らすために、自分のできることを考えたことを出し合い、考えを深める。	
2命とくらしをささえる水	9		
くらしに欠かせない水 1時間 教科書 P. 40-41	1	1 教科書の挿絵を見て話し合う。 2 どんなときにどれぐらいの水を使っているのか考える。 3 水道の水にお金がかかるわけを考える。 4 水道について調べたいことがらについて話し合う。	
たくさん使う水はどこから	2	1 奈良市の人口と給水量の移り変わ	

単元名・教材名・時数	時	主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
1時間 教科書 P. 42-43		<ul style="list-style-type: none"> 1 りのグラフを見て，気づいたことを話し合う。 2 学校の中の水の通り道を調べる。 3 本時までの学習をノートにまとめるとともに，次時の学習問題をつくる。 	
水のふるさとと通り道 1時間 教科書 P. 44-45	3	<ul style="list-style-type: none"> 1 市内の水道施設地図を見て，学校までの水の通り道を調べる。 2 浄水場にはどこから水が流れてくるのかを考える。 3 浄水場の見学計画を立てる。 	
水道水をつくるじょう水場① 1時間 教科書 P. 46-47	4	<ul style="list-style-type: none"> 1 浄水場の写真をもとに話し合う。 2 浄水場で水をきれいにする過程を見学する。 3 浄水場の人の説明を聞き，疑問を解決する。 	
水道水をつくるじょう水場② 1時間 教科書 P. 46-47	5	<ul style="list-style-type: none"> 1 浄水場を見学して発見したことを伝え合う。 2 沈殿とろ過の方法をたしかめる。 3 見学で分かったことを，メモを整理しながらノートにまとめる。 	
安全・安心な水を送る仕事 1時間 教科書 P. 48-49	6	<ul style="list-style-type: none"> 1 浄水場の人たちの仕事を思い出し，話し合う。 2 安全な水をつくるための工夫を調べる。 3 確実に水を送る工夫を調べる。 4 これまでの学習を振り返り，自分たちの飲み水がどこでつくられ，どのように送られてくるのかについて，自分の考えをノートにまとめるとともに，さらにみんなで話し合いたいことを出し合う。 	
毎日水が使えるのは当たり前のこと？ 1時間 教科書 P. 50-51	7	<ul style="list-style-type: none"> 1 水を求めて並ぶ人たちの写真を見て話し合う。 2 水不足で使えなくなった畑の写真を見て話し合う。 3 日本が豊かな水に恵まれているわけについて，森林の働きと関連づけて考える。 	
かぎられた水をたいせつに	8	<ul style="list-style-type: none"> 1 「もったいない」について話し合う。 	

単元名・教材名・時数	時	主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
使うために 1時間 教科書 P. 52-53		2 水をたいせつに使う工夫を考える。 3 自分が取り組みたい工夫をもとにチェックリストを作成する。 4 水を守る活動でやってみたいことをチェックリストに追加する。 ※選択・判断場面	*本時終末で、次ページ P. 54～55 の「ふりかえりシート」へのまとめ方について紹介し、授業以外で行う学習の説明をする。
ふりかえってみよう 1時間 教科書 P. 54-55	9	1 学習のきっかけとなった疑問を振り返る。 2 調べたことを振り返り、ノートにまとめる。 3 考えたことを、「ふりかえりシート」に、キーワードを使って表す。	○教科書 P. 54～55 を読み、主な学習活動 3 について、自分が考えたことを、キーワードを使って、「ふりかえりシート」にまとめる。(1時間) *各自がまとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。 *次時からは補助教材を使って自然災害について学習することを説明する。また、補助教材 P. 2～3 を読み、東京都で起きた自然災害についてのノートへのまとめ方について説明する。
自然災害から人々を守る活動			
1 自然災害から命を守る	1 2		
大単元の導入 1時間 補助教材 P. 2-3	1	1 補助教材 P. 3 の写真⑤と⑥を見て、三宅島の噴火について具体的に話し合い、自然災害について理解する。 2 補助教材 P. 2～3 の写真を活用して、東京都で起きた代表的な自然災害について調べる。 3 東京都で起きた自然災害について、問いをもつ。	○補助教材 P. 2～3 を読み、東京都で起きた代表的な自然災害について、インターネットや本などで調べ、ノートにまとめる。(1時間) *各自がまとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。
水害のことを知る 1時間 補助教材 P. 4-5	2	1 補助教材 P. 4 の写真「①多摩川の水が押し寄せたことで流される家」と「②う回流のおそろしさ」を関連させて、気づきや疑問を出し合う。 2 補助教材 P. 5 の「ひ害にあわれた鈴木さんの話」などから、被害状況や対処について調べる。 3 補助教材 P. 5 の表④から、主な災害とその被害について調べる。 4 補助教材 P. 7 の写真「③妙正寺川の増水」を見て、見学の視点を話し合	

単元名・教材名・時数	時	主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
		う。	
水害について調べる 2時間 補助教材 P. 6-7	3 4	1 学校の近くを流れる妙正寺川を見学しする。見学後、水害についての気づきや疑問を出し合う。 2 補助教材P. 6のグラフ「②雨量と千歳橋（中野区）ではかった妙正寺川の水位のうつり変わり」などから、都市部で起きる水害について調べ、学習問題を考える。 3 学習問題について予想し、それをもとに学習の計画を立てる。	
水害の原因を調べる 1時間 補助教材 P. 8-9	5	1 東京都に多数ある河川とわたしたちの生活とのつながりから、水害の原因について考える。 2 補助教材P. 9の「⑤下水道からあふれるこう水と、川のこう水」と学習資料を使って、都市部で水害が起きる原因を調べる。 3 水害の原因について、分かったことをまとめて、学習を振り返る。	
水害を防ぐしせつを調べる 1時間 補助教材 P. 10-11	6	1 妙正寺川の護岸工事の写真から、水害を防ぐには施設の工事などの備えが必要であることに気づき、追究する。 2 補助教材P. 10の「町会長の松原さんの話」から、工事がおこなわれた理由について調べる。 3 補助教材P. 11の写真などを活用して、防災のための施設を調べる。 4 水害を防ぐための施設について、分かったことをまとめて、学習を振り返る。	
自然の力を調べる 2時間 補助教材 P. 12-13	7 8	1 補助教材P. 12の写真「①山はだがけずられた森林」を見て、水害と森林の関係を考える。 2 補助教材P. 12の「森林組合からの手紙」を読んで、自然の力について考える。 3 補助教材P. 13の写真のように、本所防災館で自然の力を体験する。	

単元名・教材名・時数	時	主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
		4 水害に関係する自然の力について、分かったことをまとめて、学習を振り返る。	
情報を役立てる 1時間 補助教材 P. 14-15	9	1 インターネットの気象情報を見て、分かったことを話し合う。 2 インターネットを活用して、国や東京都、杉並区などが災害用に出している情報を調べる。 3 補助教材P. 14～15の写真のように、インターネット以外の情報について調べる。 4 防災情報について分かったことをまとめて、学習を振り返るとともに、「さらに考えたい問題」をつくる。	
災害にそなえる取り組み 1時間 補助教材 P. 16-17	10	1 補助教材P. 16の写真「①消防庁の救助ヘリ」「②消防隊員や消防団による水防訓練」「③たおれた家からの救出訓練」を見て、分かったことを話し合う。 2 杉並区や地域が備えている備蓄倉庫を調べる。 3 地域の防災部長の松原さんに話を聞き、公助、共助、自助について考える。 4 これまでの学習を振り返りながら、「さらに考えたい問題」について考える。	* 本時終末で、次ページ補助教材 P. 18～19 の「わたしの防災の手引き」のまとめ方を紹介し、授業以外で行う学習の説明をする。
災害対さくについてもう一度考える 2時間 補助教材 P. 18-19	11 12	1 補助教材P. 18の「②東京都が取り組んでいる水に関する対さく」を見ながら、水害対策についてまとめる。 2 「東京都防災ホームページ」や「東京防災」を読んで、「自分たちにできること」を考え、「わたしの防災の手引き」をつくる。 3 これまでの学習で分かったことや考えたことをまとめて、学習を振り返る。	○補助教材 P. 18～19 を読み、自然災害から命を守るために自分たちにできることを考えたり、選択・判断したりして、「わたしの防災の手引き」をまとめる。(1時間) * 第 12 時で各自がまとめたものを交流し、自分たちにできることを多面的に考えることができるようにする。
6 地いきのはってんにつくした人々			
県内の文化財と年中行事	9		
昔の建造物をさがす	1	1 市がつくった案内の地図を見て、市	

単元名・教材名・時数	時	主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
1 時間		<p>には古い建物が多く残っていることに気づく。</p> <p>2 市をおとずれる年間の観光客数のうつり変わりのグラフ等を提示し、写真の古い建物と関連づけて考える。</p> <p>3 市に残っている古い建物について、詳しく調べる。</p>	
建造物についてさぐる 1 時間	2	<p>1 市の古い建物を一つ選び、その建物について調べてみたいことを出し合う。</p> <p>2 建物に詳しい人をゲストティーチャーとして招き、話を聞き、学習問題をつくる。</p> <p>3 学習問題について予想し、何を調べるか、どうやって調べるか、学習の計画を立てる。</p>	
年表にまとめる 1 時間	3	<p>1 建物の歴史について調べる。</p> <p>2 調べて分かったことを年表にまとめる。</p> <p>3 次時の学習について知る。</p>	*本時終末で、カードのかき方とすぐろくのつくり方を紹介し、授業以外で行う学習の説明をする。
カードにまとめる 1 時間	4	<p>1 県内に残る古い建物について調べる。</p> <p>2 調べて分かったことをカードにまとめる。</p> <p>3 調べたことをもとに、古い建物を残すことの大切さについて話し合う。</p> <p>4 つくったカードを持ちより、班で「〇〇すぐろく」をつくる。</p>	<p>○県内の主な建物を調べ、建物カードにまとめる。(1時間)</p> <p>*各自がまとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>
まちに伝わる祭り 1 時間	5	<p>1 博物館などを見学して、祭りや年中行事についての話を聞く。</p> <p>2 年中行事などについて、知っていることや調べたいことを話し合う。</p> <p>3 県内のある祭りについて分かったことをまとめる。</p> <p>4 県内のある祭りについて、どんなことをもっと知りたいか、カードにまとめる。</p>	<p>○年中行事や県内の祭りについて、インターネットや本などで調べ、カードにまとめる。(1時間)</p> <p>*各自がまとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>
祭りについて調べる 1 時間	6	<p>1 祭りをおこなう人たちに聞き取りをして、調べる。</p>	

単元名・教材名・時数	時	主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
		2 疑問に思ったことを話し合い、学習問題を設定する。 3 予想と学習計画を立てる。	
祭りをささえる人々 1時間	7	1 祭りに使う道具などをつくる人にインタビューをおこない、どんな思いで祭りに関わっているのか調べる。 2 祭りをおこなう人について、話を聞いて分かったことをまとめ、さらに聞きたいことを考える。 3 1から分かったことをまとめ、本時の学習を振り返る。	
祭りにかける思い 1時間	8	1 祭りの振興会などの人の話から、祭りに対する願いを考える。 2 1の話の内容やこれまでの学習から、祭りに参加している人たちの思いをまとめ、新たな課題を見つける。 3 1の話を深く吟味し、祭りの新たな課題を考えることができる	
課題の解決に向けて 1時間	9	1 祭りが開催されている近くの小学校の具体的な取り組みを調べる 2 自分たちにもできそうな、松井を盛り上げる取り組みを考え、発表する。 3 グループで発表した考えを話し合い、自分が考えた方法が実現可能なのか、交流する。	*本時終末で、次時からは郷土の偉人について学習することを伝え、P. 104～106にある浜口梧稜についてノートにまとめることを説明する。
1よみがえらせよう、われらの広村	13		
大単元の導入 1時間 教科書 P. 104-105	1	1 郷土の偉人について話し合う。 2 絵図を見て考える。 3 気づいたことや思ったことを出し合う。 4 浜口梧稜について学習していくことを知る。	○P. 104～105の絵図を見て、何について描かれたものなのか考える。(1時間)
浜口梧稜と広村のていぼう 1時間 教科書 P. 106	2	1 写真を見て、思ったことや気なることを発表する。 2 浜口梧稜について、家族に聞いたことや調べたことを発表し合う。 3 「稲むらの火」を読み、思ったことを話し合う。	○P. 106～※5の「稲むらの火」を読んだり、浜口梧稜について家族に聞いたりしたことをノートにまとめる。(1時間) *各自がまとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。

単元名・教材名・時数	時	主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
		4 見学の予告をする。	
見学する計画を立てる 1時間 教科書 P. 107	3	1 本時までに聞いてきたことを発表する。 2 広川町の地図を見ながら, 思ったことを話し合う。 3 見学計画のワークシートを書く。 4 見学の行き方, 見学の順路の説明を聞く。	
「稲むらの火の館」をたずねる／浜口梧陵のあとをたずねる 3時間 教科書 P. 108-111	4 5 6	1 稲むらの火の館を見学する。 2 広川町の堤防(広川堤防)を見学する。 3 堤防から広八幡神社を歩く。	
「稲むらの火の館」をたずねる／浜口梧陵のあとをたずねる 2時間 教科書 P. 108-111	7 8	1 見学や聞き取り調査して分かったことや気づいたこと, 疑問に思ったことを発表する。 2 話し合ったことを整理する。 3 今後, 全体で考え合う学習問題を決める。	
津波に負けないいぼうをつくる 2時間 教科書 P. 112-113	9 10	1 堤防づくりのひみつについて話し合う。 2 浜口梧陵の堤防づくりでの工夫・苦労・願いを考え合う。 3 浜口梧陵について考える。	
浜口梧陵について話し合う 1時間 教科書 P. 114-115	11	1 浜口梧陵について話し合う。 2 清水さんの話を聞く。 3 話し合ってみて, 今までの自分の考えをたいせつにしながら浜口梧陵についても一度考えてみる。	
今のわたしたちのくらしと梧陵 1時間 教科書 P. 116-117	12	1 安政南海大地震と昭和南海地震の時の津波被害の様子の違いについて考える。 2 広川町役場の丸山さんの話を聞いて, 今の広川町の人々の取り組みについて知る。 3 広小学校の子どもたちの手紙から浜口梧陵の思いが現在の子どもたちにも受け継がれようとしていることを知る。 4 浜口梧陵や堤防について自分たち	*本時終末で, 次ページ P. 118~119 の紙しばいのつくり方を紹介し, 授業以外で行う学習の説明をする。

単元名・教材名・時数	時	主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
		が学んできたことをどのようにして地域の人に伝えるのか考える。	
ふりかえってみよう 1時間 教科書 P. 118-119	13	1 お話「稲むらの火」を振り返る。 2 見学して分かった, 今も残る浜口悟陵のあとを振り返る。 3 堤防がどのようにしてつくられたのかや, 堤防によって村がどのようなようになったのかを振り返る。 4 グループで紙しばいづくりをする。	○教科書 P. 118 のふりかえりの手順と P. 119 の紙しばいのつくり方を読み, 浜口悟陵のはたらきを紙しばいにまとめる。(1時間) *各自がまとめたものを提出させ, 一人一人の学習状況を確認する。
7 わたしたちの住んでいる県			
2県の人々の暮らし	15		
岡山県の観光地や特産物 1時間 教科書 P. 136-137	1	1 岡山県のキャラクターを紹介する。 2 岡山県のキャラクターについて話し合い, 特色ごとに分類する。 3 岡山県のどの地域を調べるか, 話し合う。 4 調べ方について話し合う。	
(1) ゆたかな自然を生かす 真庭市 多くの観光客がおとずれる 蒜山高原 1時間 教科書 P. 138-139	2	1 蒜山高原について知っていることを話し合う 2 蒜山高原の地理的環境について話し合う。 3 蒜山高原の観光客数について話し合う。 4 蒜山高原に多くの観光客が訪れる理由を予想する。	
自然を生かした観光地 1時間 教科書 P. 140-141	3	1 前時の学習を振り返り, 蒜山高原の魅力を話し合う。 2 観光地図や年間平均気温のグラフから蒜山高原を訪れる観光客が多い理由を調べる。 3 調べたことを話し合う。 4 「『道の駅』の人の話」を読んで, 観光客が多い理由を話し合い, ノートにまとめる。	
地形や気候を生かして 2時間 教科書 P. 142-143	4 5	1 蒜山高原に観光客がやってくるわけを振り返る 2 ジャージー牛やだいこんからできる製品について話し合う。 3 土地の様子や降水量のグラフから蒜山高原の地形や気候の特徴を調べ	

単元名・教材名・時数	時	主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
		<p>る。</p> <p>4 蒜山高原の人々は、なぜジャージー牛やだいこんを育てているのか話し合う。</p>	
<p>地いきの未来を考える 2時間 教科書 P. 144-145</p>	<p>6 7</p>	<p>1 教科書P. 141 の「『道の駅』の人の話」を振り返る。</p> <p>2 エコツアー、バイオマスについて調べ、話し合う。</p> <p>3 「ひるぜん焼そば」について調べ、話し合う。</p> <p>4 真庭市の人々はどんな町づくりを目指しているのかについて話し合う。</p>	
<p>(2) 伝統的な工業がさかんな町、備前市 備前焼づくりにちょうせん 2時間 教科書 P. 146-147</p>	<p>8 9</p>	<p>1 備前焼づくりを体験する。</p> <p>2 備前焼づくりの感想を話し合う。</p> <p>3 備前焼を見たり、触ったりして、気づいたことや思ったことを話し合う。</p> <p>4 備前焼について知りたいことを話し合う。</p>	
<p>備前焼づくりのさかんな地いき 1時間 教科書 P. 148-149</p>	<p>10</p>	<p>1 備前市の写真や地図を読み取り、発表する。</p> <p>2 備前市で備前焼づくりがさかんな理由を予想する。</p> <p>3 備前市で備前焼づくりがさかんな理由を調べる。</p> <p>4 調べたことをまとめる。</p>	<p>*本時終末で、次ページ P. 150～151 で備前焼の生産工程を調べ、それを伝え、ノートへのまとめ方を紹介し、授業以外で行う学習の説明をする。</p>
<p>備前焼ができあがるまで 2時間 教科書 P. 150-151</p>	<p>11 12</p>	<p>1 備前焼の生産工程を調べる。</p> <p>2 備前焼をつくる人たちの工夫や努力について考える。</p> <p>3 学習のまとめをする。</p>	<p>○備前焼の生産工程について、教科書 P. 150～151 や、インターネット、本などで調べ、ノートにまとめる。(1時間)</p> <p>*各自がまとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>
<p>伝統を守り、伝える 1時間 教科書 P. 152-153</p>	<p>13</p>	<p>1 備前焼をさかんにしていくための取り組みについて考える。</p> <p>2 備前焼をさかんにしていくための取り組みについて調べる。</p> <p>3 備前焼の伝統を守る人々の思いについて話し合う。</p>	
<p>パンフレットでPR しよう</p>	<p>14</p>	<p>1 蒜山高原や備前焼の学習を振り返</p>	

単元名・教材名・時数	時	主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
2時間 教科書 P. 154	15	<ul style="list-style-type: none"> る。 2 パンフレットを作成する。 3 パンフレットの発表会をする。 	
3 世界に広がる人とのつながり	5		
岡山県とつながりのある世界の国々 1時間 教科書 P. 158-159	1	<ul style="list-style-type: none"> 1 世界とのつながりについて、経験したことや知っていることについて話し合う。 2 岡山市が交流関係を結んでいる地域を調べる。 3 岡山市と交流を結んでいる地域について話し合う。 4 岡山市と世界のつながりについて予想し、調べ方を話し合う。 	
産業によるつながり 1時間 教科書 P. 160-161	2	<ul style="list-style-type: none"> 1 岡山市の特色ある産業について話し合う。 2 岡山市と外国とのつながりについて調べる。 3 岡山市と外国とのつながりについて、分かったことを話し合い、発表する。 	<p>*本時終末で、次ページ P. 162～163 で岡山市と外国との交通によるつながりを学習することを伝える。そして、岡山県の特色ある地域についてのカルタを紹介し、授業以外で行う学習の説明をする。</p>
交通によるつながり 1時間 教科書 P. 162-163	3	<ul style="list-style-type: none"> 1 観光客が利用する交通機関について予想する。 2 岡山市と外国を結ぶ交通について調べる。 3 これまで調べたことをもとに、交通によるつながりについて話し合う。 4 岡山県の特色ある地域について、カルタや地図にまとめて発表し合い、考えを話し合う。 	<p>○岡山市と外国との交通によるつながりについて、教科書 P. 162 を読んで調べる。また、これまでの学習を振り返り岡山県の特色ある地域についてまとめたカルタをつくる。(1時間)</p> <p>*各自がまとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>
ふりかえってみよう 2時間 教科書 P. 164-165	4 5	<ul style="list-style-type: none"> 1 自分の住んでいる県について調べたことを振り返る。 2 調べたところには、それぞれどんなよさがあったのか、ノートを見て振り返る。 3 自分の住んでいる県のよいところを、ほかの人にPR したいと思うことを考えて、「ふりかえりシート」にまとめ、発表する。 	